

## 令和7年第3回(6月)瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、令和7年第3回(6月)瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

先の市長選挙におきまして、当選の栄を賜りました。その重責に身の引き締まる思いです。また、議員の皆さまにおかれましても、この度の選挙でのご当選、誠にありがとうございます。市民の皆さまの健やかな暮らしの実現と瀬戸内市の発展のため、ともにご尽力くださいますようお願い申し上げます。

最初の議会に臨むに当たり、私の所信を述べさせていただきます。今回の市長選挙では、選挙期間中に市民の皆さまからさまざまな意見やご要望をお伺いすることができました。

人口減少、少子高齢化が進む地域の方からは、農漁業の後継者不足や伝統文化の継承ができなくなっているといった課題、さらには公共交通の充実を望む声が多く聞かれました。また、都市化が進むJR駅周辺では、交通渋滞の解消や子育て・教育環境の充実等を求める声が多く寄せられました。

こうした市民の皆さまのご意見やご要望を実現していくためには、今、進めている都市計画の中で、瀬戸内市の将来像をしっかりと描いていくことが必

要であると考えています。

私は、武久市政を引き継ぐとともに、瀬戸内市を次のステージに押し上げることをお約束いたします。

まず、子育て・教育支援としては、出産祝い金、不妊治療助成の拡充や新設、学校給食費の完全無償化を目指すとともに、経済的な理由で学校外教育を受けられない子どもに対し、習い事等を利用する機会を与える「学校外バウチャー」制度の導入を検討します。

次に、産業振興としましては、トップセールスによる企業誘致の推進、地域ビジネス支援センターを核としての創業支援や新産業創出の推進に取り組むことで税収の確保につなげるとともに、農漁業の高付加価値化や販路拡大に取り組む、後継者の確保に努めます。

交流人口、関係人口の拡大に向けては、備前長船刀剣博物館を拠点に刀剣文化の伝承を図るとともに、体験型の観光コンテンツの開発により国内外の来訪者の増加を推進します。さらには、ふるさと納税についても、事業者との協働により、寄附額の更なる増加に取り組むことで、独自財源の確保だけでなく、本市を応援していただける方々の拡大を図ります。

高齢者の皆さまには、住み慣れた地域で健康でいきがいを持った生活を送っていただくために、認知症やフレイルのリスクの軽減に資する施策を進めるとともに、これまで以上に利用しやすい公共交通の整備について検討します。また、障がい者やその家族への支援としては、就労支援の推進やきめ細かな

サービスの拡充を図ります。

最後に、安全安心のまちづくりに関しては、防災・減災対策として、「瀬戸内市国土強靱化地域計画」の取組を推進するとともに、実働性のある自主防災組織の育成に努め、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害に備えます。

以上、所信を申し述べましたが、これらを実現していくためには、市議会議員の皆さまをはじめ、市民、事業者の方、そして市職員が力を合わせていくことが必要です。瀬戸内市を更に住みやすいまちにしていくため、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

#### ○ 南海トラフ地震への備えについて

南海トラフ地震の発生確率は今後30年以内に80%程度とされており、切迫した状況にあります。また、当市は「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されており、特に沿岸部では津波による被害が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、市では南海トラフ地震への備えを進めており、6月14日には牛窓町公民館で「せとうち防災リーダー養成講座」を開催し、南海トラフ地震を想定した防災まち歩き及び防災マップづくりを行いました。

また、11月8日に牛窓西小学校で予定している「総合防災訓練」では、地震

の揺れや津波を想定した訓練を実施し、沿岸部での防災対策を強化していきます。

本年度も自主防災組織の活性化や「せとうち防災リーダー」のスキルアップを図ることで、家庭や地域における「自助」「共助」を促進し、市全体の防災力向上を目指します。

### ○ 韓国との交流について

江戸時代に朝鮮王朝から日本に派遣された使節団「朝鮮通信使」の復元船が、5月17日、18日に牛窓に寄港しました。2日間で延べ約900人の見学者があり、韓国の伝統芸能団体「釜山芸術団」による楽器演奏や歌などがあり、日韓の文化・芸術交流を深める機会となりました。

また、昨年11月に密陽市から、これまでの友好都市から姉妹都市へ格上げすることの提案をいただき、調整を経て、5月22日に密陽市で姉妹都市協定を締結しました。

今回の協定により、これまで両市で築いてきた友好関係を一層深め、青少年の交流、行政間交流などを活発化させ、両市の繁栄や市民の幸福、両国の親善増進につなげていきたいと考えています。

### ○ 第3次総合計画の見直しについて

令和3年9月に策定した第3次瀬戸内市総合計画は、10年間とした計画期

間の中間年となったこと、また、市長の交代に伴い施策の見直しも必要と考えていることから、現在、後期基本計画の策定作業を進めているところです。

5月下旬から6月上旬にかけて、市民2,000人を対象に実施した「市民まちづくり意識調査」の結果を活用し、今後、後期基本計画(素案)についての検討を進め、総合計画審議会に諮問し、パブリックコメントを経た後、議会にお諮りしたいと考えています。

#### ○ ゼロカーボン施策について

一般家庭と事業者を対象とした太陽光発電設備や蓄電池の設置、電気自動車の購入、高効率エアコンや高効率給湯機器への買替え等に対する脱炭素推進設備導入補助金の交付申請を、今年度も6月2日から受け付けています。

また、市の公共施設へのLED照明や高効率エアコンの導入及び太陽光発電設備の設置等も進めながら、併せて公共施設の電気契約を瀬戸内市民電力株式会社に切り替え、再生可能エネルギー由来の電力を供給することで、2040年ゼロカーボン社会の実現を目指します。

#### ○ 瀬戸内市営火葬場について

岡山市との連携により整備した新火葬場については、令和7年4月から供用を開始し、順調に運営を進めています。

利用状況としましては、5月末時点で瀬戸内市民が95件、岡山市民が41件、

その他の自治体の方が7件であり、合計で143件の利用がありました。

この件数は、想定を若干上回るペースとなっており、今後も増加の傾向にある火葬需要に適切に対応するため、引き続き、指定管理者と連携を取りながら円滑な運営を行っていきます。

なお、今年度、火葬場敷地内に瀬戸内市民電力株式会社がオンサイトPPAによる太陽光発電設備を設置し、脱炭素化と経費の削減を図ることとしています。

#### ○ こどもパークの進捗状況について

実施設計に係る予算を令和7年度に繰越した上で、工事に係る債務負担行為も認めていただき進めてきた「こどもパーク」の整備計画ですが、事業費の財源として見込んでいた国の交付金制度が、第2世代地方創生交付金へ移行されたことに伴い、採択要件が変更されたことで、計画の見直しが必要となりました。

今年度に入り、新たな採択要件に合わせた事業計画の変更を検討した結果、地域の産業界や教育機関など多様な主体と連携することが求められ、事業主体の変更を含め、これまでの計画を抜本的に見直さなければ、事業を進めることができないとの判断に至りました。

今後については、これまでの計画をもう一度精査し、財源の確保策を検討した上で、今年度中に方向性を定め、改めて議会の皆様にお諮りする予定です。

す。

#### ○ 不妊治療費助成の実施について

不妊治療については、令和4年度から医療保険が適用されていますが、妊娠までに複数回の治療を受ける事例も多く、経済的負担が大きいことが課題となっています。このため、本市では、不妊治療を受ける人が経済的理由により治療を断念することのないよう、今年度から治療費の一部を助成したいと考えています。

助成額は、保険が適用される治療の自己負担額に対し、上限を10万円とし、今議会に関連予算を計上しています。

#### ○ 熱中症対策について

気象庁の予報によりますと、今年の夏も全国的に気温が高いと予想されていることから、熱中症予防の更なる対策が必要と考えています。

そのため、過去に例のない危険な暑さが想定される場合に発表される「熱中症特別警戒アラート」発令時には、市内9か所にクーリングシェルターを開設するとともに、SNSなどでの情報発信による注意喚起を行います。

#### ○ 誘致企業の動向について

第2宮下産業団地に誘致中のアイリスオーヤマ株式会社について、その後の

進捗状況をご報告します。

昨年12月に用地の売却を完了し、当初の予定では、今年の夏頃から建設工事に着手する計画としていましたが、企業側からは、事業着手に必要な手続きに時間を要しているため、瀬戸内工場の着工時期が当初想定より遅れるとの連絡を受けています。

今後につきましては、誘致企業から新たな情報が入り次第、改めて議会の皆さまにお知らせします。

#### ○ 国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」の貸出しについて

この度、本市がふるさと納税を活用したクラウドファンディング等により購入した国宝「山鳥毛」を初めて県外に貸し出します。

貸し出し先は、上杉謙信の居城がある春日山城を有する新潟県上越市です。

上越市では、上杉謙信を顕彰する「けんしんこうさい謙信公祭」が100回目を迎えることを記念し、上越市立歴史博物館にて8月13日から24日までの12日間展示されることになっています。

なお、本市での国宝「山鳥毛」の展示は、来年3月を予定しています。

#### ○ 岡山大学との連携について

瀬戸内市民病院では、岡山大学と連携し、4月から「日曜小児科外来」と「難聴外来」を開始しています。

「日曜小児科外来」については、岡山大学の教育研究活動として小児科寄付講座を開設し、大学病院から市民病院へ医師の派遣を受け、日曜日に小児の急病患者への対応を実施しています。

4月と5月の2か月間で計8日実施し、延べ患者数は102人、1日平均で12人の診察を行いました。患者のご家族からは、「日曜日に診察を受けることができて助かりました。」という温かい言葉をいただいています。

次に、「難聴外来」についてですが、毎月第1月曜日と第3月曜日の14時30分から16時30分まで開設しています。

4月と5月の2か月で計3日実施し、延べ患者数は13人、1日平均で4人の診察を行いました。検査や診察を行い、必要な方については補聴器の利用などについての説明を行っています。

#### ○ 食物アレルギー対応について

学校給食調理場では、令和7年4月から食物アレルギー対応として、除去食の提供を実施しています。除去の対象となる品目は、卵と乳<sup>にゅう</sup>の2品目です。除去食の対象者は、邑久・牛窓学校給食調理場で22人、長船学校給食調理場で3人となっています。今後も保護者・学校・調理場が連携し、情報を共有しながら、適切な食物アレルギー対応を実施していきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例4件、補正予算2件、その他1

5件、計21件です。

よろしくご審議をいただき、適切なご決定をいただきますようお願い申し上げます。  
報告を終わらせていただきます。

令和7年6月24日

瀬戸内市長 黒石 健太郎